

# 「二本松市民の歌」

作詞 丘 灯至夫  
作曲 戸塚 三博

一、安達太良の 山は輝き<sup>かがや</sup>

阿武隈川の 流れゆたかに<sup>あぶくま</sup>

ああ 二本松

二本松市民 われら

拳<sup>こそ</sup>りたち 文化みちびく

二、その人の 姿なけれど

智恵子台 松はこみどり

ああ 二本松

二本松市民 われら

お城山 ここに歌あり

三、花散りし 少年隊の

まごころは いまも変わらず

ああ 二本松

二本松市民 われら

手をとれば ちからみなぎる

四、桜咲く 春の眺めや<sup>なが</sup>

菊香る 夜の祭りに

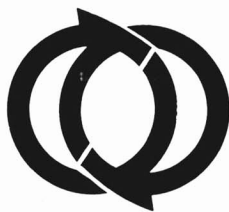
ああ 二本松

二本松市民 われら

湯のけむり つねに夢あり

(昭和四十年四月一日制定)

## 市のしるし (市章)



二本の松葉<sup>まつば</sup>の組合せによって  
市名をあらわし、協和融合<sup>きょうわ ゆうごう</sup>の  
市政と産業の発展<sup>はってん</sup>を念じ、歴<sup>ねん</sup>  
史と観光<sup>かんこう</sup>の市の前途<sup>ぜん と しょうちよう</sup>を象徴し  
ています。